

私たちの活動や意見を
仲間で共有します
会費は県と日本平和委
員会の活動も支えます

土浦平和の会ニュース

発行：土浦平和の会
事務局：土浦市神立町2664
ホームページ：//heiwatutiura.
web.fc2.com/

戦争法廃止！安倍内閣退陣！ 1.26鎌田慧(さとし)講演会を 多くの参加で成功させよう



安倍内閣による戦争
法案阻止に向けて、土
浦市を中心にして結成
された総がかり行動の
枠組み（戦争をさせな
い1000人委員会県南協
議会と憲法を守り・い
かす土浦共同センター
＝土浦平和の会はこの
一員）が主体となった
実行委員会が主催する
鎌田慧（かまたさとし）
さんの講演会が今月26
日に土浦市民会館大ホ
ールで催されます。

これは、「戦争法廃
止！安倍内閣退陣！」

のタイトルが示すよう
に、現在全国で展開さ
れている2000万署名
の趣旨を具現化する
講演会です。

講師の鎌田さんは、
別掲のプロフィールに
見られるように一貫し
て被差別者、底辺労働
者など弱者の立場に拠
つたルポルタージュを
数多く執筆、著作は既
に120冊を超えています。
社会運動にも積極的
に参加、現在は脱原発
運動や憲法を守る運
動、安保法制に反対す

る運動に関わっていま
す。今回講演会の実行
委員会を構成する「戦

争をさせない1000人委
員会」の呼びかけ人の
一人です。

【鎌田慧さんプロフィール】

青森県弘前市出身。青森県立弘前高等学校卒業後に上京し、零細工場で働く。カメラ工場の見習工、筆耕者養成学校の印刷工などを経て、早稲田大学第一文学部露文科に入学。

大学卒業後、業界紙（鉄鋼新聞社）記者を経てフリーライターとなる。トヨタ自動車の期間工の経験をもとに『自動車絶望工場』を発表、社会派ルポライターとして注目を集める。

1990年（平成2年）、『反骨 鈴木東民の生涯』で新田次郎文学賞受賞。翌年、『六ヶ所村の記録』で毎日出版文化賞受賞。1994年（平成6年）に発表した葛西善蔵の評伝『椎の若葉に光あれ』をはじめ、大杉栄、太宰治などを題材に、伝記も多数執筆している。

鎌田はかつて、成田空港反対運動に加わっていたこともあるなど、社会運動にも深くかかわり、新日本文学会の解散のときに編集長もつとめていた。

脱原発をめぐるっては、大江健三郎、坂本龍一、内橋克人、澤地久枝、瀬戸内寂聴、鶴見俊輔、落合恵子、辻井喬などと「さようなら原発」運動を呼びかけ、1000万人署名、17万人集会（2012年7月）を実施した。

「九条の会」傘下の「マスコミ九条の会」呼びかけ人を務めている。

チケットを大いに普及しましょう 高校生・大学生は無料です

この講演会のチケットですが、前売り券の販売状況はかんばしくありません。大人500円ですので、当日参加できない方には運動へのカンパとして協力を呼びかけましょう。

また、今回は若い方々にも大いに聞いてもらおうとの趣旨で、大学生までの学生さんは無

料としています。このことも合わせて訴え、市民会館（1階席684 2階席498）をいっぱいにしましょう。

チケットは平和の会各理事が取り扱っていますがお近くにいない場合は、事務局長の近藤(080-1987-4050)または会計の古沢(090-6509-1223)までご連絡

ください。

2016百里初午祭(2/11) の参加者を募集します

恒例の百里初午祭が2月11日(木曜日祝日)に百里基地一坪運動地の公園で開催されます。安法法制が強化される中、国・自衛隊に土地を渡さないことを合言葉に有志によって守られてきた基地内の民有地・一坪運動地の有効性はますます重要になっ

ています。

改めて憲法9条の平和主義が問われる情勢の中での開催です。現地で大いに語り合ひましょう。土浦平和の会では自家用車での相乗り参加を考えています。ご希望の方は事務局近藤(電話左記)までご連絡ください。

私は、戦後生まれで戦争体験はありませんが、戦後の大変な生活の記憶があります。

私の父は、3年間中国に出兵し終戦で東京の水道橋に帰国、北海道滝川市に疎開した家族の下

リレー随想

に住みました。昭和61年肝臓癌で68歳で亡くなりました。戦争の話が嫌いだっただ父が、死ぬ間際、モルヒネで朦朧としている中、5分ほど戦時中の話をしました。虐殺したことや周りの仲間が殆ど死んで数人だけが助かったという話でした。

40年以上父の心から離れなかった記憶を聞き、私は戦争は2度と起こしてはならないと新たに決意しました。

私は、昭和62年、国鉄の分割民営化で、JR北海道に不採用になり、札幌清算事業団に入れられました。国鉄改革法で定員割れしたJR各社は、清算事業団から優先的に採用することとなり、JR東日本・東海・西日本が募集しました。私は、JR東日本を希望して採用されました。赴任先は荒川

沖駅、住まいは土浦市東崎町の社宅でした。

「国鉄分割民営化反対・不当労働行為を許さない闘いは全国一つ」の合言葉で札幌を出て、この闘いに奮闘してきました。

裁判では敗訴しましたが、民主党・鳩山内閣のとき勝利的和解をしました。しかし闘いが終わったわけではありません。後に、当時の中曽根総理は、闘う労働組合を潰すためにやったと豪語しました。

残念ながら労働組合運動

は今低迷しています。労働組合の活性化をめざすとともに、JRを退職後は、色々な民主運動にもかかわっています。

今は、安倍の暴走をストップし、自公内閣を退陣させる絶好のチャンスです。野党共闘で自公を少数にする為、共同の輪を広げましょう。

(古澤 明)

茨城県土浦市に

移り住んで30年